

日本のグランドデザイン構想会議 中間とりまとめ骨子（案）

○ 提言タイトル

日本のグランドデザイン

「分権型国家の創造」による我が国の再生・再構築

～ 多極型国土の形成によるしなやかで頑強な日本の実現 ～

○ 目指すべき社会の姿・国家像及び検討項目

I 国土構造の変革による災害に強い日本

【検討項目】

(1) 一極集中の是正と多極型の国土づくり

ア 首都機能の分散・バックアップを担う交流圏の形成

イ 日本海国土軸をはじめとする多重・分散型国土軸の形成と地域間ネットワークの強化

※ 主な検討課題

- ・首都機能の分散・バックアップの前提となる安定的な電力供給のあり方及び空港・港湾等の社会資本の整備を重要な論点とすることを検討
- ・分散・バックアップ化すべき国家機能について、行政機能に限定せず、皇室、政治、経済、文化・「知」の機能等の具体的な提言を検討
- ・国土軸の複線化の観点から、北陸新幹線等、新幹線の位置付け及び高速道路のミッシングリンク早期解消の必要性を検討
- ・極東アジアに近接する日本海側港湾等の戦略的活用のため、具体的な交通ネットワーク、物流システム改革や規制緩和策等を検討
- ・極東アジアと日本海側を結ぶパイプライン敷設の可能性を探るなど、資源確保の観点からの日本海側の位置付けを提起することを検討

(2) 多極型社会を支える新たな地方自治体の姿

ア 特区手法や課税自主権の拡大

イ 広域自治体の再構築（国、基礎自治体との役割分担等）

※ 主な検討課題

- ・国家戦略の先取り・実験が地域の責任で可能となる「スーパー特区」の検討（現行総合特区の規制緩和等の自由化・迅速化を一層進める。）
- ・「地方共有税」等を財源とした、地方が主体的な責任を持つ財政調整制度の検討
- ・広域自治体と基礎的自治体の関係、道州制のあり方を含めた地域が自己決定可能な地方行政制度の構築を検討

Ⅱ 地域経済の回復により再生する日本

【検討項目】

- (1) 日本発展のエンジン
- ア 多極型の産業再配置、産業空洞化対策
 - イ 農林業の復権、地産地消・6次産業化の推進
 - ウ 新しいエネルギー社会の構築

※ 主な検討課題

- ・食料危機への対応方法を検討
- ・環境に優しい未来都市の構築を進めるため、再生可能エネルギー・蓄電技術の開発促進と、それに基づく循環型社会モデル都市を各地に実現することについて検討
- ・スマートグリッドなどを活用したネットワーク社会の構築をどのように目指していくべきか検討
- ・メタンハイドレードの開発促進等、資源確保戦略の検討

(2) グローバル化により国際社会と直結する地域社会

- ア 国際競争力のある産業の創造
- イ グローバル人材・高度専門人材の育成

※ 主な検討課題

- ・世界における日本の相対的地位が低下する中、資源の乏しい日本が国際的な優位を確保していくため、クリエイティブなコンテンツ産業や科学技術を原動力にした国際競争力のある産業の創造について検討
- ・今後の日本を担う望ましい人材像や人材育成のために何が必要か検討
- ・日本で活躍する優秀な外国人の育成・獲得の具体策（研究、就労、起業支援等）を検討
- ・大学の秋入学に伴う「ギャップイヤー」の有効活用方策を具体的に検討

Ⅲ 地方が元気で新しい価値の創造の源となりうる日本

【検討項目】

- (1) 地域社会の再生に向けて
- ア 絆が豊かさを生み出す地域社会づくり
 - イ 多様な価値観・ライフスタイルの実現が可能な社会づくり
 - ウ 相互補完型の地域構造への再編

※ 主な検討課題

- ・多極で持続可能な分権型社会の構築に向けて、欠かすことのできない要素の一つである「絆」によって生み出される共助の重要性を検討
- ・健康・福祉・医療分野や若年層・高齢者のライフスタイルの変化を踏まえた「新しい内需」の創出等について検討